

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2005 年 6 月 9 日 (09.06.2005)

PCT

(10) 国際公開番号  
WO 2005/052176 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C12P 19/26 (KANEKO,Satoshi) [JP/JP]; 〒305-0031 茨城県 つくば市 吾妻 2 丁目 1-2 Ibaraki (JP). 久野 敦 (KUNO,Atsushi) [JP/JP]; 〒305-0045 茨城県 つくば市 梅園 2 丁目 20-1 2 Ibaraki (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/015091
- (22) 国際出願日: 2003 年 11 月 26 日 (26.11.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社 角弘 (KAKUHIRO CO., LTD.) [JP/JP]; 〒030-8543 青森県 青森市 新町 2 丁目 5-1 Aomori (JP).
- (74) 代理人: 田中 宏, 外 (TANAKA,Hiroshi et al.); 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門一丁目 19 番 14 号 邦楽ビル 7 階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): JP, US.
- (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).
- (71) 出願人 および
- (72) 発明者: 高垣 啓一 (TAKAGAKI,Keiichi) [JP/JP]; 〒036-8063 青森県 弘前市 宮園 1 丁目 1-1 3 Aomori (JP).
- 添付公開書類:  
— 国際調査報告書
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 金子 哲
- 2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: METHOD OF SEPARATING GLYCOSAMINOGLYCAN FROM PROTEOGLYCAN CORE PROTEIN WITH THE USE OF XYLANASE

(54) 発明の名称: プロテオグリカンのコアタンパク質からキシラナーゼを用いてグリコサミノグリカンを分離する方法

(57) Abstract: A method which comprises cleaving the binding cite of proteoglycan core protein to sugar chain glycosaminoglycan with the use of xylanase to thereby collect the sugar chain glycosaminoglycan without damaging the same.

(57) 要約: キシラナーゼを用いて、プロテオグリカンのコアタンパク質と糖鎖グリコサミノグリカンとの結合部位を切断し、糖鎖グリコサミノグリカンを損傷することなく採取する方法に関する。

WO 2005/052176 A1